

税務システム標準仕様書の改定内容と 反映タイミング

令和5年4月24日

税務システム標準仕様書の改定内容と、反映タイミング

- 昨年8月末の2.0版公開後、各所からの意見や関連制度、仕様書の更新等に合わせ、税務標準仕様書の改定が必要となります。
- 税務システム標準仕様書の改定タイミングごとの改定内容と、それらの標準仕様書への反映タイミングを以下に示します。
- 昨年度末公開された2.1版においては、以下①～⑤を反映いたしました。本WTにおいては⑥～⑧を検討し、検討結果を反映したのち、全国意見照会版に反映いたします。

	2023年3月31日改定（第2.1版）	2023年8月31日改定（第3.0版）
改定内容	<ul style="list-style-type: none"> ① データ要件・連携要件標準仕様書の改定による反映 ② 共通機能標準仕様書の改定による反映 ※ 2022年12月末に検討WTが終了。 ③ 実装類型の見直し結果の反映 ※ 2022年12月末に検討結果を受領。 2.1版で全て反映済 ④ 指定都市要件の見直し結果の反映 ※ 2023年2月中旬以降に検討結果を受領見込み。 ⑤ 地方団体・ベンダからの意見による反映（記載誤り等の軽微な修正のみ） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ R5年度税制改定による反映 →収納について森林環境税が該当 ⑦ 各税目の残件対応結果の反映 ⑧ 地方団体・ベンダからの意見による反映（内容に関する修正） <div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; background-color: red; color: white; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>昨年度引き継ぎ事項の他、APPLIC・地方団体等からの意見について、本WTにて検討する。WTで決定した方針をもとに全国意見照会版の標準仕様書に反映する。</p> </div>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>全国意見照会を実施しない</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>全国意見照会を実施予定</u>